脳神経内科
～レビー小体型認知症～

レビー小体型認知症は認知症の原因となる病気です。アルツハイマー型認知症についで 多く、たくさんの患者さんがおられます。

症状と心理検査と画像検査で診断します。

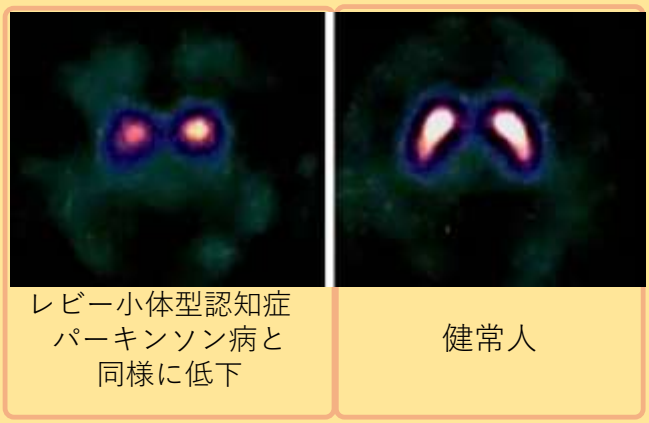
症状
●注意力の低下　●視覚認知の障害　●記憶障害
●幻視（実際には見えないものが見える）
●認知機能の変動（その時々による理解や感情の変化）
●パーキンソン症状（歩行など動作の障害）
●レム睡眠行動障害（大声での寝言や 行動化）

検査
● DaT scan (ダットスキャン)

● MIBG心筋シンチグラフィ

●脳血流シンチグラフィー

DaT scan (ダットスキャン)



レビー小体型認知症
パーキンソン病と
同様に低下

健常人

治療
●抗認知症薬　　認知機能の悪化を抑える
●抗パーキンソン病薬　　運動機能を良くする

最近物忘れが増えてきた，歩きにくくなってきた，見えないはずのものが見える，大声で寝言を言う　といった症状がある方は脳神経内科外来に御相談下さい。木曜午前と金曜午後に「レビー小体型認知症」外来（担当：志村）をおこなっております。